



創立 60 周年を迎えて



本年 4 月 23 日、株式会社オーエスは、創業 60 周年を迎えます。

昭和 26 年に日本初のカラー映画「カルメン故郷へ帰る」が制作され、昭和 28 年には NHK が日本初の TV 放送を開始しました。創業者奥村昭之助は、以後の映像文化を敏感に感じ取り、映写用スクリーンの製造販売を手がけるため、昭和 28 年（1953 年）4 月 23 日、大阪府堺市に奥村商会を設立いたしました。それが株式会社オーエスの前身です。

以後日本の映像発展の歴史と共にオーエスも今日まで歩いてまいりました。弊社は映写用スクリーンのパイオニアとして、ただ映すだけの映写用幕の世界を、幕面の素材の探求から技術革新を行ってまいりました。今では一般的な「幕面の光学特性」という概念を市場に訴え、パール素材を開発したのもオーエスです。また国産初のファブリックスクリーン「ピュアマット」もオーエスのたゆまぬ技術探求の結果です。

オーエススクリーンの名で、映写用スクリーンメーカーの老舗と言われる弊社ではありませんが、創業以来、映像に係わる技術の進化と共に、テレビハンガーや AV テーブルなどの機器の開発・製造、スクリーンの設営に伴う壁開閉装置や舞台装置などの設計・設置など、独自の技術を重ねてまいりました。その結果が現在のディスプレイハンガー、AV キャビネット、そして AV システムの構築等に醸成されております。

また単にメーカーとして物を作るばかりではなく、文化の担い手としての働きかけも続けてきました。映画館をお茶の間というホームシアターの楽しみを、市場提案したのもオーエスです。またこれからのエネルギー対策をいち早く震災前にご提案したのが、モバイルソーラー発電「どこでも発電™」です。

60 周年の道のりは必ずしも平坦ではありませんでした。特に近年は映像技術の革新の割りに業界全体に閉塞感が生じてしまっている状況です。そのような中で無事 60 周年を迎えられた事は、ひとえにお客様を始めとしたステークホルダーの皆様のおかげと深く感謝いたします。株式会社オーエスは「製品・商品・サービスを提供する顧客第一主義の企業である事」を理念として、社員一同・グループ一同で、60 周年を区切りとして新たな一步を踏み出し、またこれからもお客様のご期待に沿えるよう最大限の努力を重ねてまいります。また 60 周年をステップとする様々なご提案もしてまいります。どうぞ今後ともオーエスグループにご支援並びに、ご指導ご鞭撻をいただけますようお願い申し上げます。

2013 年 4 月 1 日

オーエスグループ

代表

奥村正之

主な製品から見たオーエスの歩み

1953年 映画館用のスクリーンの製造・販売・設置施工を始める

1972年 傾斜角度調整機能付き OHP スクリーン (OHP400) 発売

1988年 手動スクリーンのベストセラー AM 誕生

1991年 大型巻き上げスクリーン EC、HW 誕生

1992年 テレビハンガー TH シリーズ発売

1993年 ボールストップ機構開発、全ての手動スクリーンに採用 (一部を除く)

1993年 AVキャビネットTT、AVラックTR、AVボードTB発売

1995年 ソフトwind機構を開発、全ての手動スクリーンに採用 (一部を除く)

1996年 インターネットホームページ開設

2000年 ホームシアターショールーム開設

2000年 ホームシアター用ファブリックスクリーン生地ピュアマット™誕生

2004年 ホームシアタースクリーン A1、E1 発売

2008年 世界最小プロジェクター PK101 発売

2008年 ユニットテーブル UC シリーズ発売

2009年 日本初のエコマーク認定スクリーン オーエスセイフ E 誕生

2010年 モバイルソーラーユニットどこでも発電™発表

2010年 新しいコンセプトスクリーン P/T/B セレクション発売

2012年 日本初のサイドテンション立上げタイプ SVS 発売



ソフトwind機構

ボールストップ機構



AVキャビネット UC シリーズ



P セレクション



SVS



どこでも発電™



AV システム構築

